



# 認知行動療法 ワークショップ

## 早期精神病への認知行動療法 How To Do

### Paul French先生 ワークショップ

近年、エビデンスに基づく精神療法である認知行動療法(Cognitive Behavioural Therapy)が、精神疾患への心理社会的治療法として国際的に普及しており、わが国でもうつ病の認知行動療法を中心に普及しつつあります。一方、国際的には、英国を中心に精神障害性疾患をはじめとする精神疾患への早期支援(Early Intervention)の実践が盛んになり成果をあげています。精神病への早期支援(EI for psychosis)でも、認知行動療法が重要な要素として位置づけられています。本ワークショップでは、早期精神病への認知行動療法第一人者であるPaul French先生を英国よりお招きして、早期精神病への認知行動療法の具体的な実践技術を学びます。

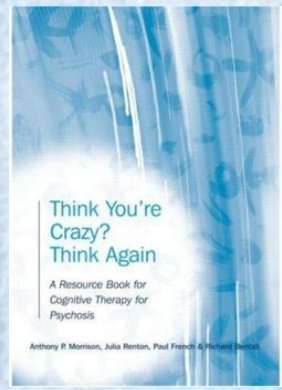
#### ～対象～

現在早期支援の実践に取り組んでいる精神保健専門職  
または今後早期支援の実践に取り組む予定のある  
精神保健専門職  
(医師・心理士・精神保健福祉士・看護師・作業療法士等)

#### ～内容～

Think You're Crazy? Think Againに沿った  
レクチャー・ワーク

- ・精神病体験や精神障害体験による問題を理解する
- ・質問紙やモニタリングシートを使って  
精神病体験と認知・感情・行動の関連を見極める
- ・認知・感情・行動をより良い方向に変えるには?
- ・ワークシートを使った宿題の実例



**Paul French, Ph.D.**

マンチェスター大学 認知行動療法研究員  
Bolton Salford and Trafford  
メンタルヘルストラスト 早期介入サービス 参事

【募集定員】 **60名**

【申込先】 E-mail : [amsr-office@umin.ac.jp](mailto:amsr-office@umin.ac.jp)

【参加費】 **無料**

【申込締切】 **11月25日 (金)**

【参加申し込み方法】 **締切延長いたしました。お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。**  
以下の内容を明記していただき、E-mailにてお申し込みください。  
氏名・年齢・性別・職種・精神科実践歴・早期支援経験の有無と年数・主な実践現場

平成23 (2011) 年

**11月29日 (火) 9:30~12:30 慶應大学病院 新棟11階 中会議室**  
(新宿区信濃町35) ※逐次通訳あり

#### アクセス

JR 中央線・総武線各駅停車「信濃町」駅下車、徒歩約1分  
地下鉄 都営大江戸線「国立競技場」駅 (A1番出口) 下車、徒歩約5分  
バス 都営バス品97系統 信濃町駅  
都営バス 早81系統 四谷第六小入口  
車 首都高速4号線外苑出口、外苑東通り四谷三丁目方面すぐ

